

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

第19期(決算日 2022年3月7日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス:<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			投資信託 証券 組入比率	純資産額
		税込 分配金	期中 騰落率		
15期 (2020年3月9日)	円 7,331	円 0	% △17.7	% 96.7	百万円 1,688
16期 (2020年9月7日)	6,842	0	△ 6.7	97.5	1,437
17期 (2021年3月8日)	8,359	0	22.2	96.2	1,556
18期 (2021年9月7日)	8,177	0	△ 2.2	92.9	1,339
19期 (2022年3月7日)	8,840	0	8.1	93.0	1,178

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

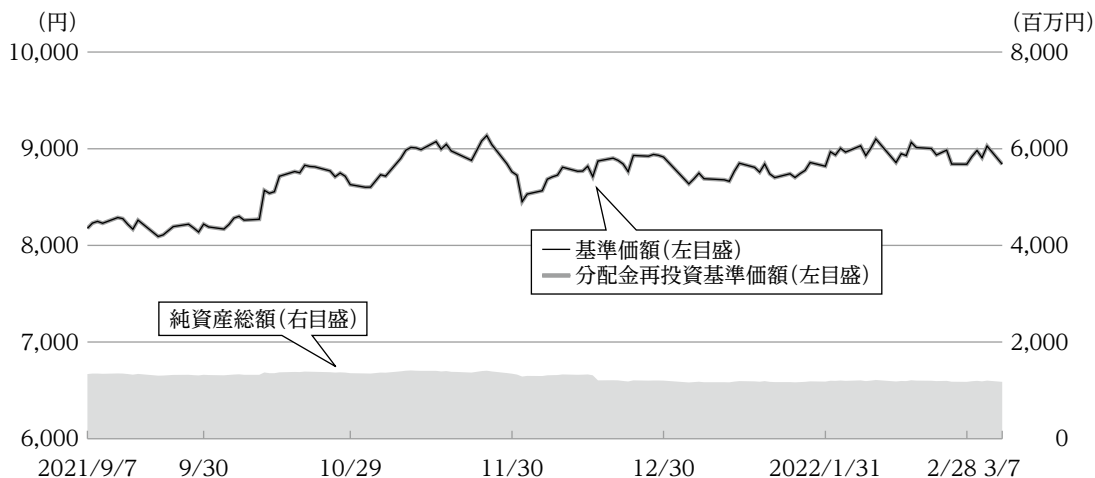
年月日	基準価額		
		騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2021年9月7日	円 8,177	% -	% 92.9
9月末	8,220	0.5	92.2
10月末	8,628	5.5	94.9
11月末	8,762	7.2	93.0
12月末	8,914	9.0	91.7
2022年1月末	8,819	7.9	92.4
2月末	8,839	8.1	92.9
(期末) 2022年3月7日	8,840	8.1	93.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年9月8日～2022年3月7日)



第19期首	8,177円
第19期末	8,840円 (既払分配金0円)
騰落率	8.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。
- ・通貨ペソが対円で上昇したこと。

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は上昇しました。

期初から2021年11月中旬にかけてはフィリピン国内で新型コロナウイルスのワクチン接種が急速に進展し新規感染者数が大幅に減少したことを受けて、ロックダウン（都市封鎖）が段階的に解除されていることを好感し、株式市場は上昇基調をたどりました。しかし、その後新たに変異株であるオミクロン株による感染が拡大したことから、再び一部商業施設等でのロックダウンが実施され、株式市場は11月末にかけて一時反落しました。年明け以降は、エネルギー価格の高騰によるインフレ懸念が台頭する中、概ね横ばいで推移していた株式市場は、新規感染者数が減少したことを好感し、経済再開への期待から期末にかけて堅調な展開となりました。

為替市場

フィリピンペソは、期初から2021年10月半ばにかけては、米国でインフレが進行し、テーパリング（量的緩和の縮小）観測が高まる中、米ドルに対し下落しました。その後は、新型コロナウイルスの新規感染者数がフィリピンで減少したことが好感され、フィリピンペソは米ドルに対し上昇しました。12月後半以降は、更なるインフレの高進により米国で利上げが実施されるとの見方が強まり、フィリピンペソは対米ドルで下落しました。期末にかけてはロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりなどから、一段の米ドル高となり、通期でも下落しました。

また、円は米国との景気格差や米国における金融引き締め政策への転換が見込まれたことなどを受けて、対米ドルで下落しました。通期ではフィリピンペソ高円安となりました。

国内債券市場

期初から2021年10月半ばにかけては、欧米の長期金利上昇を受けて日本国債利回りも上昇（価格は下落）しましたが、12月半ばにかけては新型コロナウイルスの変異株の拡大懸念などから日本国債利回りは低下しました。しかし、年明け以降2022年2月半ばにかけてはエネルギー価格の高騰などから日本国債利回りは上昇しました。期末にかけては、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて日本国債利回りは低下しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス] (以下「フィリピン・エクイティ」といことがあります。) の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、コロナ禍からの経済活動の再開を受けて不良債権の減少等により大幅な収益増加期待が高まった銀行Metropolitan Bank & Trust Coや新型コロナウイルスの新規感染者数の減少によりショッピングモールへの人出が増え、売上の回復が期待された不動産会社SM Prime Holdingsなどの保有がプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第19期	
	2021年9月8日 ~2022年3月7日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,419

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンでは新型コロナの変異株オミクロン株などの感染の広がりを受けて2022年の年明け以降、新規感染者数が1日当たり3万人を超えるなど大幅な増加が見られましたが、足元では千人未満まで減少し経済活動は正常化に近づいています。今後は、更なるワクチン接種の進展、移動制限の緩和、家計所得の改善などから、経済の循環的な回復と力強い成長が期待されます。5月9日に投開票が予定されている大統領選挙後は、市場のボラティリティも落ち着き、新予算案の編成や海外からの投資を支援する新法の成立が見込

まれるなど、政策的なサポートも下支え要因です。

セクター別では、割安だと考えられる金融を選好し、割高だと判断したコングロマリット（複合企業）、消費関連株の組入れを低めに維持する方針ですが、引き続き投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2021年9月8日～2022年3月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	59円	0.682%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,697円です。
(投信会社)	(23)	(0.262)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.042	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.042)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.001)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	63	0.724	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

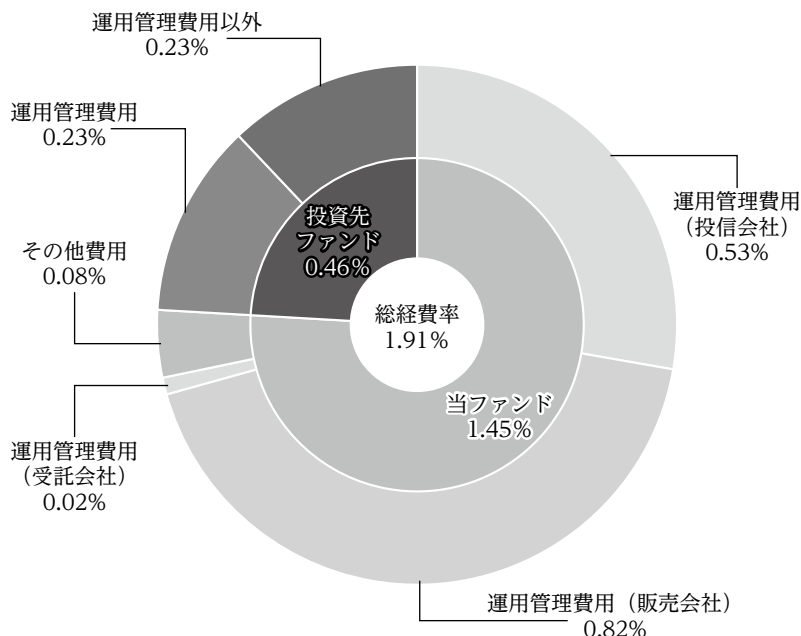
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率 (①+②+③)	1.91%
①当ファンドの費用の比率	1.45%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2021年9月8日から2022年3月7日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 -	千米ドル -	千口 110	千米ドル 2,300

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2021年9月8日から2022年3月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2022年3月7日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 4,636	千口 4,636	千円 4,972	% 0.4
合 計	4,636	4,636	4,972	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 564	千口 453	千米ドル 9,482	千円 1,090,622	% 92.6
合 計	564	453	9,482	1,090,622	92.6

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2022年3月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	4,972	0.4
投 資 証 券	1,090,622	91.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	93,083	7.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,188,677	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(1,090,622千円)の投資信託財産総額(1,188,677千円)に対する比率は91.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年3月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.02円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年3月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,188,677,426円
コール・ローン等	93,082,777
投資信託受益証券(評価額)	4,972,032
投資証券(評価額)	1,090,622,617
(B) 負 債	10,620,659
未 払 解 約 金	1,350,809
未 払 信 託 報 酬	8,733,854
未 払 利 息	272
そ の 他 未 払 費 用	535,724
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,178,056,767
元 本	1,332,656,078
次 期 繰 越 損 益 金	△ 154,599,311
(D) 受 益 権 総 口 数	1,332,656,078口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,840円

(注1) 元本の状況

期首元本額	1,637,830,290円
期中追加設定元本額	55,232,742円
期中一部解約元本額	360,406,954円

(注2) 1口当たり純資産額は0.8840円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2021年9月8日 至2022年3月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 46,247円
支 払 利 息	△ 46,247
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	94,537,101
売 買 損 益	102,680,264
売 買 損 益	△ 8,143,163
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,269,578
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	85,221,276
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△150,176,167
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 89,644,420
(配当等相当額)	(157,428,757)
(売買損益相当額)	(△247,073,177)
(G) 計 (D+E+F)	△154,599,311
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△154,599,311
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 89,644,420
(配当等相当額)	(157,428,757)
(売買損益相当額)	(△247,073,177)
分 配 準 備 積 立 金	31,744,122
繰 越 損 益 金	△ 96,699,013

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(157,428,757円)および分配準備積立金(31,744,122円)より、分配対象収益は189,172,879円(10,000口当たり1,419円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連証券	
ベンチマーク	PSEi Index (フィリピン総合指数) *1	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.25%	
管理費用等	年率0.25%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) *2	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

*1 PSEi Index (フィリピン総合指数) は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

*2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2020年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2020年12月31日に終了した事業年度		米ドル
期初純資産		48,263,917
収益		
配当金		604,666
預金利息		754
収益合計		605,420
費用		
運用報酬		214,921
管理費用		11,600
保管銀行費用		32,960
取引手数料		33,180
管理・名義書換代行事務費用		22,482
監査費用、公告・印刷費用		593
税金		4,837
借越利息		748
役員報酬		176
その他費用		1,174
費用合計		322,671
純投資収益（損）		282,749
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(2,100,807)
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）		4,275
外国為替に係る実現純利益（損）		64,965
実現純利益（損）		(2,031,567)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		433,417
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		(1,252)
未実現評価益（損）の純変動額		432,165
運用による純資産の純増加額（減少額）		(1,316,653)
資本金の変動		
投資証券の発行		9,233,272
投資証券の解約		(13,145,733)
当期の純資産の変動額		(5,229,114)
期末純資産		43,034,803

投資有価証券明細表（2020年12月31日現在）
（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場 で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Philippines					
Aboitiz Equity Ventures Inc	1,495,810	PHP	1,783,524	1,471,717	3.42
Aboitiz Power Corp	915,500	PHP	711,359	506,138	1.18
Alliance Global Group Inc	2,548,700	PHP	859,654	562,562	1.31
Ayala Corp	150,539	PHP	2,250,504	2,592,391	6.02
Ayala Land Inc	4,355,350	PHP	3,362,962	3,709,304	8.63
Bank of the Philippine Islands	1,245,027	PHP	2,202,401	2,109,028	4.90
BDO Unibank Inc	933,590	PHP	2,144,339	2,076,220	4.82
Bloomberry Resorts Corp	2,839,900	PHP	598,177	479,590	1.11
Cosco Capital Inc	3,418,511	PHP	418,329	402,190	0.93
DMCI Holdings Inc	2,573,550	PHP	554,124	303,316	0.70
East West Banking Corp	2,075,947	PHP	631,092	466,859	1.08
Emperador Inc	273,800	PHP	57,223	57,584	0.13
Filinvest Land Inc	12,471,826	PHP	412,633	290,867	0.68
First Gen Corp	920,412	PHP	478,742	539,519	1.25
First Philippine Holdings Corp	443,630	PHP	715,119	711,308	1.65
Globe Telecom Inc	17,090	PHP	650,704	722,411	1.68
GT Capital Holdings Inc	75,185	PHP	1,291,882	915,868	2.13
International Container Terminal Services Inc	522,955	PHP	1,049,051	1,344,861	3.13
JG Summit Holdings Inc	1,496,618	PHP	1,810,710	2,231,362	5.19
Jollibee Foods Corp	222,200	PHP	912,051	903,171	2.10
LT Group Inc	4,343,870	PHP	1,214,937	1,184,934	2.75
Manila Electric Co	138,600	PHP	830,387	842,737	1.96
Megaworld Corp	5,993,100	PHP	526,031	509,164	1.18
Metro Pacific Investments Corp	10,444,300	PHP	1,095,803	930,827	2.16
Metropolitan Bank & Trust Co	1,852,711	PHP	2,416,293	1,892,312	4.40
PLDT Inc	48,685	PHP	1,802,541	1,358,457	3.16
Puregold Price Club Inc	521,510	PHP	451,847	445,238	1.03
Robinsons Land Corp	1,162,013	PHP	543,184	512,971	1.19
Robinsons Retail Holdings Inc	234,620	PHP	399,320	317,559	0.74
San Miguel Corp	171,560	PHP	403,538	457,627	1.06
Security Bank Corp	332,190	PHP	1,159,567	926,910	2.15
SM Investments Corp	191,543	PHP	3,030,060	4,183,961	9.73
SM Prime Holdings Inc	5,354,975	PHP	3,250,148	4,293,032	9.99
Universal Robina Corp	467,810	PHP	1,418,595	1,485,543	3.45
Vista Land & Lifescapes Inc	1,688,383	PHP	191,898	164,537	0.38
			<u>41,628,729</u>	<u>41,902,075</u>	<u>97.37</u>
株式合計			41,628,729	41,902,075	97.37
投資総額			41,628,729	41,902,075	97.37
その他資産				<u>1,132,728</u>	<u>2.63</u>
純資産				<u>43,034,803</u>	<u>100.00</u>

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/2/26 ～2022/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,763円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2022年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2
合 計	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第321回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第351回 利付国債（10年）	1.0	50,000	50,029	2022/03/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,141	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,123	2029/03/20
	第60回 利付国債（20年）	0.1	90,000	89,814	2030/06/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,357	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	51,212	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	46,780	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,283	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	40,625	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	59,869	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	149,018	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	31,881	2030/03/20	
合 計			649,500	680,138	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。